

[illegible]

泉というひとつのことばは、ほんものの泉がなければ生まれてきませんでした。でもたとえほんものの泉にふれたことがなくても、人は泉ということばから泉がどういうものか思いえがくことができます。この校歌を歌うことを通して、みなさんがそれぞれの泉を自分の中に発見してくれたら、作詞者としてこんなにうれしいことはありません。

命を考える一日 道徳授業地区公開講座が行われました

11月9日(土)に道徳授業地区公開講座が行われました。御多用の中、たくさんの保護者および地域の方に参観いただき、ありがとうございました。

「D-(19)生命の尊さ」という全校統一のテーマで、クラスごとに道徳の授業を展開しました。1年生は「わたしのいもうと」といういじめで妹を失った少女の思いに触れ、いじめについて考えました。2年生は「捨てられる命」を読み、ペットの殺処分の問題について触れ、命の大切さを考えました。3年生は「臓器ドナー」臓器移植について様々な考え方をもつ人の手記を読んで、自分の考えを発表し、生命について考えました。F組は「妊娠・出産はキセキなのか」という題材に触れ、心と身体の成長と人生について考えました。

その後体育館で、新町クリニック院長 神應知 道(かんおうともみち)先生による講演「いのちの授業～がんをとおして～」を拝聴しました。起きた物事をポジティブにとらえることでポジティブにインプットを行い、ポジティブなアウトプットをすることが心の健康、幸せ、そして命に対して良い影響を及ぼすことにつながる話をいただきました。コーヒーをこぼしても、机や床を拭いた後、「むしろきれいになってよかった。今日のズボンが白じゃなく茶色だったからラッキーだ。」というように、前向きにとらえることが大事であることを学びました。また人を褒める、褒められることで、心に黄金水を注ぐこともよりよく生きるために必要であることも学びました。後半には、がんの性質や、ポジティブな考えが脳の活性化につながり、心を満たすことが細胞にも良くがんを予防できることを教えていただきました。

講演会後には地域や学校運営連絡協議会の方々と交えての意見交換会を行い、授業の振り返りや生命尊重について考えることができました。



心に「黄金水」を注ぐ！神應先生の講演会の様子



保護者・地域の方・教職員の意見交換会の様子

<泉中生 栄光の軌跡>

【女子バレーボール部】第8ブロック新人大会 準優勝 都大会出場

【書道】JA 西東京書道コンクール 佳作 書道 半紙の部
書道 条幅の部



1月の主な予定

8(水)始業式 9(木)都立推薦出願始 給食始 14(火)安全指導

15(水)専門委員会 16(木)中央委員会 17(金)避難訓練

20(月)朝礼(生徒会)・SC 勤務日 26(日)都立高校推薦試験

27(月)都立高校推薦試験・SC 勤務日 31(金)都立推薦試験発表・手続き

